

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

令和2年8月17日

計画の名称	密集市街地防災まちづくり（防災・安全）	重点配分対象の該当
-------	---------------------	-----------

計画の期間	平成29年度 - 平成33年度（5年間）	交付対象	浦安市
-------	----------------------	------	-----

計画の目標			
-------	--	--	--

首都直下型地震などの大規模災害に備え、地震時等に著しく危険な密集市街地が含まれる堀江猫実元町中央地区において、災害時にも命を守るために地区の防災性の向上と密集市街地の解消の実現及び通常時の安全性・防犯性を向上させるため、つぎの5つの目標を掲げる。

防災活動を円滑化するため、境川沿川東西の幹線道路との交差点部に防災活動拠点を整備し、境川沿川に防災活動道路を新設してそれらをつなぐことにより、地区内への進入と河川水利を活かした防災活動と住民の避難をしやすいとする。

避難路ネットワークを形成するため、住民協議による「街区プラン」に基づいて、区画道路や街区内の道路整備により防災骨格道路に接続するとともに接道不良宅地などの建て替え困難な建築物も併せて解消する。

老朽建築物の建替を促進するため、住民協議による「街区プラン」に基づいて、敷地整序型土地区画整理事業や協同的建替特例手法の活用などにより、無接道宅地等での建替を促進する。

市街地の防火区画をするため、最小限の道路整備（新中通りA地区、境川沿川道路）と既存道路（幅員6m以上）の活用により地区内の防災骨格を形成し、その沿道建築物を不燃化して市街地を防火区画化することで地区の不燃領域率を向上させる。なお、建築物の防火規制等については住民協議を経て防災街区整備地区計画の策定を目指す。

子ども等の安全性を向上させるため、整備を予定している道路や防災活動拠点には、子ども等の安全や防犯に配慮した整備を行うとともに、街区プランの検討を通して防災コミュニティを育み、地域ぐるみで子どもを守る意識を向上させる。

計画の成果目標（定量的指標）

住民協議により作成する街区プランに基づいて、道路新設や既存狭隘道路を拡幅して避難路ネットワークを構築し、これらを整備することで接道不良宅地や無接道建築物などの建て替えが困難な建築物を解消する。重点密集市街地の解消に向けて住民協議で作成する街区プランに基づいて防災まちづくりを進めていくが、先行して地区内の防災性を向上させるため、新橋周辺に防災活動拠点及び防災活動や避難に役立つ避難道路を整備する。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)	
無接道建築物の棟数を平成29年度の196棟から平成33年度には98棟まで減少させる	196 棟	138 棟	98 棟	
地区内の避難活動、防災活動、消防活動を向上させる道路の整備率 整備済延長/整備計画延長（L = 895m）	0 %	13.6 %	23.6 %	

全体事業費	合計 (A + B + C + D)	661百万円	A	661百万円	B	C	D	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.0%
-------	-----------------------	--------	---	--------	---	---	---	-----------------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
A6-1	都市防災	一般	浦安市	直接	浦安市	住民等まちづくり活動支援（堀江猫実元町中央地区）	街区プラン作成等	浦安市						28.5		-	
A6-2	都市防災	一般	浦安市	直接	浦安市	地区公共施設等整備（堀江猫実元町中央地区）	防災広場（1,203㎡）、避難路整備（895m）	浦安市						625			
A6-3	都市防災	一般	浦安市	直接	浦安市	都市防災不燃化促進（堀江猫実元町中央地区）	不燃化調査等	浦安市						7.5			
合計													661				

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31	H32	H33		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31	H32	H33		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	H31	R2	
配分額 (a)	82.3	16.7	33.7	37.3	
計画別流用 増減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	82.3	16.7	33.7	17.8	
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	0.0	0.0	
支払済額 (e)	82.3	16.7	33.7	17.8	
翌年度繰越額 (f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0	0.0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている 場合その理由					